

早良警察署協議会書面会議・会議録

- 1 期日 令和2年4月23日 資料発送
同 年5月14日 返信締切り（御意見・御要望等）
- 2 開催態様 書面会議
- 3 出席者 警察署協議会 会長以下12名（返信受理）
早良警察署 署長以下10名
- 4 議事内容

(1) 会長挨拶（要旨）

新型コロナウイルスに伴う「緊急事態宣言」により、日々、窮屈な生活を強いられているが、「不要不急」の外出を避け一日でも早い終息を念じている。現状を鑑み、書面での開催となったが、よりよい早良・城南区をつくるために、御協力をお願いする。

(2) 署長挨拶（要旨）

<管内治安情勢>～本年3月末時点

ア 刑法犯の認知状況

刑法犯の認知件数は、484件（前年比^{マイナス}18件）と、ほぼ各罪種が減少傾向である。凶悪犯は横ばいであるが、知能犯（詐欺）は16件（前年比^{プラス}9件）と増加している。住民が不安に思う事件が発生した際には、できる限りの警察官を現場に投入し早期検挙・解決するようになっている。

イ 交通事故の発生状況

交通事故の発生については、294件（前年比^{マイナス}41件）と減少しているが、昨年も懸案事項であった交通死亡事故が2件発生した。形

態は、いずれも、車両と歩行者の交通事故で、そのうち1件は、深夜帯の飲酒運転によるものであった。

対策として、交差点を中心とした交通違反と飲酒運転の取締りを強化するとともに、高齢者に対する交通安全教育や飲食店に対する飲酒運転防止の呼びかけをなし、交通事故の抑止に取り組んでいる。

ウ ニセ電話詐欺について

ニセ電話詐欺及び職権盗については、被害額約2,300万円（前年比^{プラス}+約2,100万円）と激増している。対策として、第一次的に、アポ電が発生するときには必ず付近に受け子や出し子が存在するので、その時間帯に警察官を大量投入し、警戒・検挙活動を強化している。それから、金融機関と連携し、高齢の高額出金者に対する声かけ等による被害未然防止活動やATM機管理者対策を実施している。

(3) 報告事項

ア 警察官リクルーター制度 ～総務第一課

- ・早良警察署 採用個別説明会実施中
- ・早良警察署 “採用センター出張所” 開設

イ 110番制度制度の概要等 ～地域課

- ・事件・事故、困ったときには110番!
- ・移動交番車の活動状況

ウ 新型コロナウイルス感染予防対策 ～警備課

- ・早良警察署の取組み
- ・新型コロナウイルスが絡む犯罪
- ・早良警察署からのお願い

(4) 御意見・御要望等

ア 委員から、「ニセ電話詐欺による被害が異状な増加幅であるが、1件の被害額が多額であるのか、件数の増加であるのか、教示願う。」

旨の質問に対し、当署におけるニセ電話詐欺認知状況について、

・令和2年3月末～

認知件数 13件（前年比^{プラス}+11件）

被害額約2,300万円（前年比^{プラス}+約2,100万円）

・特徴的傾向～

現金対象からキャッシュカード・通帳を狙った手口へ

・新型コロナウイルスに便乗したアポ電の発生

・だまされないために（注意点）

等の資料を各委員に送付した。

イ 複数委員から、前回の警察署協議会で実施した「ニセ電話詐欺防止対策」の寸劇に対する普及要望が寄せられた。

ウ 複数委員から、日頃の警察活動に対する、謝辞が寄せられた。

以 上